

No.	写真	内容	コメント
1		南部観光案内センター正面	糸数アブチラガマ入壕受付入口 観光情報やトイレ、多目的ホールが常設されている。
2		南部観光案内センター室内にある講和室。	雨天や時間調整の時、案内看板を活用し概要説明を行う。
3		平和祈念植樹	案内センターから糸数アブチラガマに行く途中にある。糸数アブチラガマの生存者日比野勝廣氏が平成20年11月23日に植樹。
4		糸数アブチラガマ案内看板	入壕前に糸数アブチラガマの概要を説明する。
5		糸数アブチラガマ現在の入口	陣地の時に日本軍が空けた。南風原陸軍病院から負傷兵が運ばれたところ。
6		入口からガマ内に入った所の石積み	順路①. 右側に遺物がある。
7		当時の遺物	水がめ、靴底などの遺物がある。
8		空気孔①	一つ目の空気孔
9		小さな入口から入るとガマ内に大きな空間が広がる。	順路②. ガマの一番奥の部屋。順路③、④重症患者3号室（立入禁止）

No.	写真	内容	コメント
10		壕内の順路看板	ガマ内は、暗闇のため、反射板を利用した順路①、②、⑤。
11		重症患者 3 号室の入口	陣地の時、バリケードとして石が積まれた。
12		重症患者 3 号室	ガマの一番奥に位置する。手すり左側に司令部室として使われ、畳までしかかれていた。 昭和20年5月1日から重症患者 3 号室となり、破傷風患者、脳症患者の部屋となる。
13		順路⑥ ヒンプン ※目隠しのついたて	大部屋へ移動する通路。
14		2 つ目の空気孔と軍医室	当時、空気孔からガマの外の状況を確認することが出来、昼と夜の区別ができた。
15		治療室	手術の順番を待っていた。
16		3 つ目の空気孔	この下で麻酔なしの手術が行われた。
17		3 つ目の空気孔周辺	
18		一般病棟 1 号室	このガマで一番広いところ。看護婦詰所や負傷兵の病棟があった場所。

No.	写真	内容	コメント
19		カマド	
20		カマドのプレート	
21		井戸	
22		現在の通路下に、2階建ての病棟があった	小川の上には、2階建ての病棟があった。
23		焼けて黒ずんでいるガマの天井	ガソリン投下などの攻撃によって焼けた天井。
24		焼けた天井部分	
25		天井に突き刺さったトタン	6月の始め頃、攻撃によって飛ばされた倉庫のトタン。
26		食糧倉庫の部屋	ひめゆり学徒は、立入禁止。
27		出口階段	当時の入口。階段を昇ると自然の光が入ってくる。

No.	写真	内容	コメント
28		監視所	当時は慰霊碑のところにつながっていた。 ガマに入って来る者に銃が向けられ、ガマから出ていくものに銃が向けられた。
29		地上へつながる出口階段	当時の自然の入口
30		現在の出口付近にある住民地区	当時の入口に一番近いところ。
31		糧粉倉庫	慰霊碑が建立されている箇所に向かい。
32		慰霊碑	一年をとおし、来訪者からの平和の意を込めた、折りづるの奉納がある。
33		慰霊碑	
34		南部観光総合案内センターへの案内看板	出口付近に設置された案内看板
35		ガマ出口から南部観光総合案内センターへと続く道路	正面に見える小高い丘は、糸数城跡である。
36		南部観光総合案内センターへ到着	お疲れ様でした。